

甲佐町議会だより



清流

第158号

平成28年8月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 緒方 哲哉

6月定例会



7月27日から入居が始まった
乙女第1仮設団地(田口)

専決処分・条例案件・平成28年度各会計補正予算

.....②～③

そこが知りたいQ & A.....④

熊本地震・豪雨災害の被災状況.....⑤～⑥

地震関連予算に23億円

6月定例会

平成28年第2回定例会は、6月10日の1日間の審議を行った。

開会後、奥名町長が町提出案件の提案理由を述べた。

議案審議では、熊本地震に伴う災害復旧費の予算等についての専決処分報告及び承認、町道の路線認定、甲

佐町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例等の改正、平成28年度各会計補正予算など町長提出の22案件を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決・承認した。
地震対応優先のため、今回の一般質問は行われませんでした。

可決された議案等の主な内容は次のとおり。

条例関係

甲佐町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正

消防団員数の減少に伴い、団員定数を「495人」から「489人」に改正する条例の一部変更を全会一致で可決した。

地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の改正

で、職員の人事評価や退職管理の状況の公表に関し、条例の一部改正が必要となったもので、全会一致で可決した。

予算関係

平成28年度甲佐町一般会計補正予算（第2号）

既決予算86億7833万7千円に1230万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ86億9064万3千円とする補正を全会一致で可決した。

今回の補正予算の主なものは、コミュニティ助成事業に伴う補助金、甲佐町復興計画策定のための業務委託料、健康管理システムの改修委託料、緑町の大井手用水に架かる木橋の架け替え及び休憩所の改修工事の費用を補正。

平成28年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

既決予算19億1925万2千円に59万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億1984万6千円とする補正を全会一致で可決した。
今回の補正予算は、国民健康保険制度に関連する共同電算の事務委託料の費用を補正。

町道の路線廃止・認定

路線の延長1路線、各団地内の認定9路線を全会一致で可決した。路線名は次のとおり。

〈路線延長1路線〉



町道に認定された緑町団地線

- ・大坪道中線
- 〈町道認定9路線〉
- ・緑町団地線
- ・グリーン団地線
- ・星の川団地線
- ・緑川団地線
- ・中川原緑川団地線
- ・森の住宅線
- ・北原団地線
- ・サン・グリーンニュータウン線
- ・芝原第一団地線

報告及び承認関係

専決処分の報告及び承認

平成28年度甲佐町一般会計補正予算（第1号）

熊本地震に伴う災害復旧費及び災害救助費など災害関連費用の予算計上に伴い、既決予算63億6446万1千円に23億1387万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ86億7833万7千円とする補正予算について原案のとおり全会一

致で承認した。主な歳出予算は次のとおり。
避難者用食糧費 871万円

住宅応急修理費 1億7280万円

解体撤去処理業務委託料 8億7150万円

災害廃棄物収集運搬処理業務委託料 6億6431万円

農林水産施設災害復旧費 1億750万円

公共土木施設災害復旧費 2億1079万円

災害廃棄物処理の事務の委託協議について

熊本地震に伴い、多量の災害廃棄物の処理に関する事務を熊本県に委託することについて原案のとおり全会一致で承認した。

平成27年度甲佐町一般会計補正予算（第7号）

事業費、国・県の補助金等の確定に伴い、既決予算59億4802万9千円に8598万2千円を増額し、歳入歳出予算の

総額をそれぞれ60億3401万1千円とする補正予算について原案のとおり全会一致で承認した。

甲佐町税条例等の一部改正

地方税法の改正に伴い、本条例の改正が必要となったもので、主なものは次のとおり。

①法人住民税の法人税割の税率の引き下げ（平成29年4月1日施行）
9.7%↓6.0%

②軽自動車税の環境性能割の創設（平成29年4月1日施行）

③特定一般用医薬品購入費の所得控除の創設（平成30年1月1日施行）購入費（10万円を限度）のうち1万2千円を超える額を所得控除。

以上、甲佐町税条例等の一部改正について原案のとおり全会一致で承認した。

甲佐町国民健康保険条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、本条例の改正が必要となったもので、主なものは次のとおり。

①課税限度額の引き上げ。（高所得層の負担増）
医療給付費課税分 52万円 ↓ 54万円

後期高齢者支援金等課税分 17万円 ↓ 19万円

②低所得者に係る5割軽減及び2割軽減について減額措置の拡充。

以上、甲佐町国民健康保険条例の一部改正について原案のとおり全会一致で承認した。

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の一部改正

行政不服審査法の施行に伴う甲佐町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について原案のとおり全会一致で承認した。

甲佐町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

道路新設改良事業 2億3568万3千円

年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業 6356万2千円

総合保健福祉センター改修事業 5854万3千円

地方創生加速化交付金事業 5439万円

統合型地図システム構築事業 1600万円

情報セキュリティ強化対策事業 1350万1千円

など、

翌年度繰越総額 4億5947万円



支援物資の運搬



崩壊したブロック積（中山）



大量の災害廃棄物（安津橋上流側）

そこが知りたい Q & A

6月定例会 質疑から

解体撤去処理業務委託料

Q 解体処理費と災害廃棄物処理費に8億7000万円と6億6000万円が計上してあるが見通しと対象件数は。

A 損壊家屋の解体撤去等は国の災害廃棄物処理事業で対応していくが現在は受付の段階である。

受付件数は住家が157件、非住家が156件となっている。

解体の開始は6月20日ごろから開始を目標とし、県の解体工事業協会と建設業協会の合同チームに委託することとなっている。

町内には20チーム程入っていただけるものと考えており、1日に2件で150日程と考えている。



解体中の損壊家屋

乙女小学校

Q 乙女小学校の調査及び再開時期は。

A 調査は6月2日に文科省から調査を受けておりその報告を待っている状況である。

体育館について被害状況が大きくどのように改築するか検討している。校舎においては建替えの必要はないとの意見を



被災した乙女小学校玄関

聞いているので早急に補修を行い2学期から利用できればと考えている。

災害ごみの仮置き場

Q 町内の災害ごみの仮置き場は当分続けるのか。

A 緑川グラウンドでの1カ所での開設をしているが、閉鎖時期につ



災害廃棄物の仮置き場として緑川グラウンドを利用

いては検討したいと思っている。予定では、3カ月程度は続けると考えているが、要望があれば年度内など時期については考えたい。

また、今後の町が主体となる解体工事においては西寒野の民有地を借りてそこに置いていきたいと考えている。

地震発生後の状況



被災状況を確認する議員（府領）

4月14日 21:26 震度5弱（前震）

4月15日 0:03 震度5弱

4月16日 1:25 震度5強（本震）

4月14日から発生の「平成28年熊本地震」からおよそ4カ月が過ぎましたが、この未曾有の大震災に見舞われた方々、加えて6月20日から21日にかけての集中豪雨で甚大な被害を受け、被災された方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い生活の再建や地域の復旧・復興に議会と町執行部ともに全力を注いで参ります。



復旧が待たれる田口橋



数十センチの段差ができた県道宇土甲佐線（田口）



町長、議長の避難所への慰問



液状化と思われる農地（下白旗地区）

6月20日豪雨災の爪跡

1時間雨量150.0mmの脅威

気象庁歴代第4位の記録



道路一面に土砂が流出（谷内）

山林斜面の崩落
（上揚）



町道の路肩の崩れを確認する町長、議長たち（西原）

川の増水によりえぐられた町道（上早川）



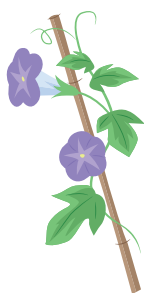
寸断された県道三本松甲佐線（上揚）

編集後記

平成28年の第2回定例会は、熊本地震の為、一般質問を行わず異例の一日限りでの議会でした。震災への対応を最優先したためであります。

一般会計の補正予算が約23億円以上に増額したことも今までにないことであります。また、6月20日の集中豪雨では本町に1時間に150mmの雨が降り甚大な被害が発生しました。被災された町民の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

地震、集中豪雨と自然災害の怖さを痛感する日々ですが広報としても議会での取組を周知していきます。（荒田）



議会広報編集特別委員会

委員長 荒田 博

副委員長 宮本 修

委員 福田 謙

委員 佐野 安

委員 山内 亮

一 春 二 治 博